

# 府中市の公共交通ネットワークの現状等について

## 1. 府中市地域公共交通計画の策定について

### 1-1 地域公共交通計画とは

「地域公共交通計画」とは、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスのすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。

国が定める基本方針に基づき、地方公共団体が法定協議会を開催しつつ、交通事業者や地域の関係者等との個別協議を重ねることで作成していきます。

地域の社会・経済の基盤となるものであり、基本的に全ての地方公共団体における計画の作成や実施を「努力義務」として定めています。

法定協議会：地域公共交通計画の作成・実施に関し、必要な協議を行うための組織。協議会において決まった事項は、その結果を尊重し、実行する。

府中市の場合：「府中市地域公共交通協議会」

根拠法令

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（令和2年6月改正 / 11月施行）

特徴

**地域が自らデザインする地域の交通**

- ・まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークを形成

**輸送資源の総動員による移動手段の確保**

- ・既存の公共交通サービスを最大限活用した上で、必要に応じて地域の多様な輸送資源についても最大限活用する取組を盛り込むことにより持続可能な旅客運送サービスを提供



**既存の公共交通サービスの改善の徹底**

- ・利用者目線による路線・ダイヤの改善や、運賃の設定等を促進
- ・料金支払い方法のキャッシュレス化、MaaS（マース：Mobility as a Service）、AI（人工知能）による配車、自動運転などの技術も最大限活用

**定量的な目標（利用者数・収支等）の設定、毎年度の評価の仕組みの制度化**

（「地域公共交通計画等の運用と作成の手引き 国土交通省発行」より引用）

### 1-2 府中市地域公共交通計画の策定

#### 1-2-1 計画で記載が求められる事項

地域公共交通計画に記載が必要な事項（法で定められている記載事項）は、次のとおりです。

▼地域公共交通計画の法定の記載事項

【記載事項】（法52）

- ① 地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ② 計画の区域
- ③ 計画の目標  
※目標設定に当たり、地域旅客運送サービスについての利用者の数、収支、地域旅客運送サービスの費用に対する国及び地方公共団体の負担に関する金額、その他必要と認める事項について定量的な目標を設定するよう努めるものとする（法54、施行規則10の2）
- ④ ③の目標を達成するために行う事業・実施主体  
（※本事項において、地域公共交通特定事業に関する事項も記載可能（法55））
- ⑤ 計画の達成状況の評価に関する事項
- ⑥ 計画期間
- ⑦ その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

【記載に努める事項】（法53）

- ① 計画に定められた目標を達成するために行う事業に必要な資金の確保に関する事項
- ② 都市機能の増進に必要な施設の立地の適正化に関する施策との連携に関する事項
- ③ 観光の振興に関する施策との連携に関する事項
- ④ ①～③のほか、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に際し配慮すべき事項

#### 1-2-2 計画の構成（イメージ）

大項目	中項目
1. 計画の概要	計画の目的、計画の位置付け、計画の区域・期間
2. まちづくりの方向性	市が目指す将来像、まちづくり・都市整備の方向性
3. 地域公共交通の現状・課題	3-1 地域の現状 3-2 公共交通の現状・問題点 3-3 地域公共交通を取り巻く課題
4. 基本的な方針と目標	4-1 基本理念と基本方針 4-2 計画の目標 4-3 地域公共交通の将来像
5. 目標達成のための事業	5-1 施策体系 5-2 各事業の内容 5-3 事業の実施スケジュール
6. 計画目標の達成状況の評価	6-1 計画の推進体制 6-2 評価・検証方法 6-3 評価指標・数値目標



## 2. 府中市の地域特性・移動特性

### 2-1 地形・土地利用

府中市の地形は、南から北へ多摩川低地、立川段丘、武蔵野段丘の3つの平坦な土地からなり、府中崖線、国分寺崖線が段丘を形成している。

標高をみると、市北西部・市北東部において標高が高く、市南東部になるにつれて標高が低くなる傾向がある。武蔵台が最も高く（約80m）、反対に押立町では標高が低く（約30m）なっている。土地利用をみると、市内の土地利用は、大部分を「低層建物」が占めている。府中駅周辺や日鋼町、住吉町、押立町、朝日町、総合医療センターでは「高層建物」が見られる。京王線沿線の南側には「低層建物（密集地）」が見られる。

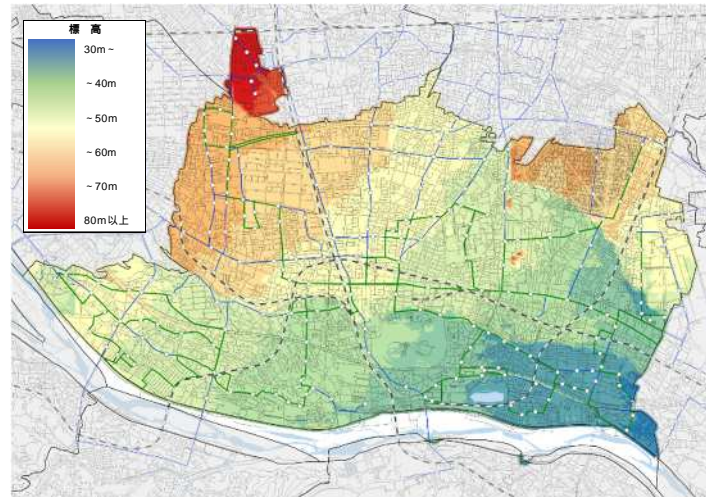


図 2-1 標高（5Mメッシュ）  
資料：基盤地図情報

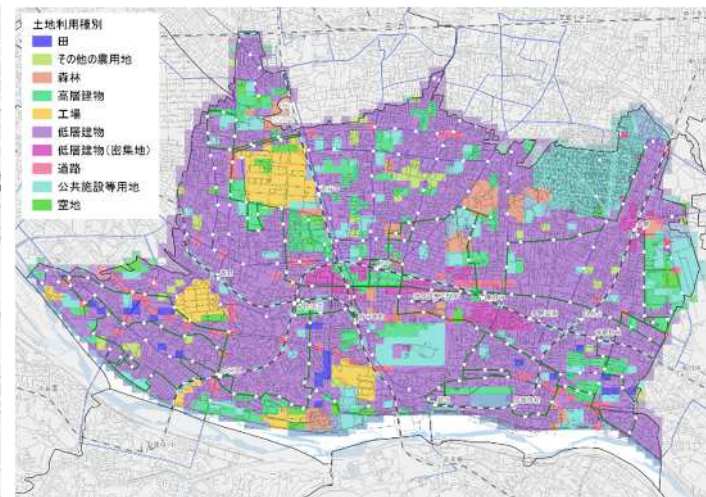


図 2-2 土地利用現況図（2016年）  
資料：国土数値情報

### 2-2 府中市の人口等の状況

#### 1) 人口の推移及び将来展望

本市の人口は、これまで一貫して増加を続けており、令和2（2020）年は26.0万人である。将来推計人口は、令和7（2025）年頃の約26.5万人をピークに減少に転じ、令和22（2040）年には25.9万人とピークから約6千人減少すると予想されている。

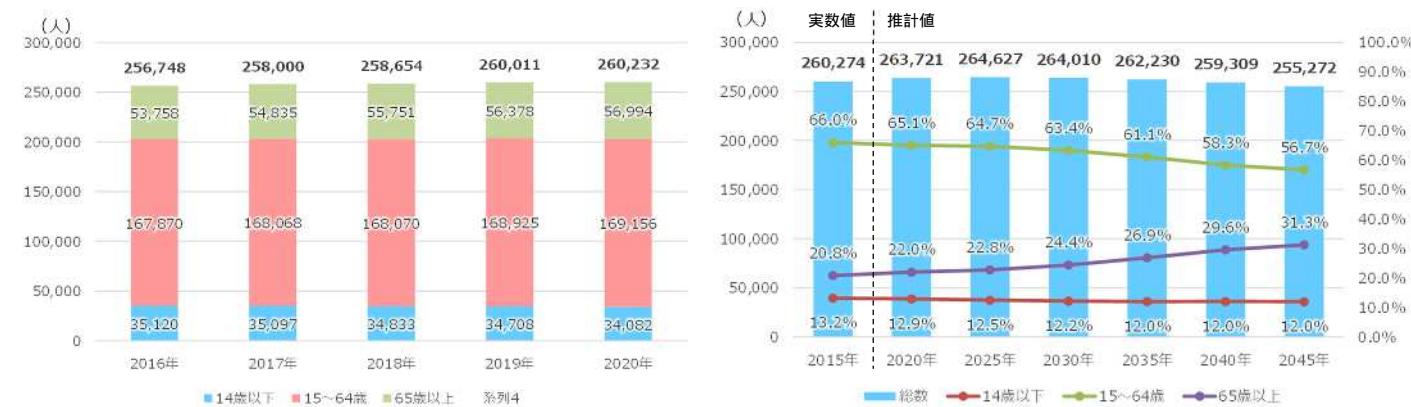


図 2-3 府中市の人口推移  
資料：府中市統計書



図 2-4 府中市の将来推計人口  
資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（平成30（2018）年3月30日公表資料）

#### 2) 人口分布（H27）

府中駅周辺の宮町・宮西町・片町や、緑町、晴見町、天神町、押立町、浅間町で人口密度が高く、特に宮西町1丁目と緑町3丁目の一部では400人/ha以上となっている。高齢者人口の分布は、基本的には人口分布と同様の傾向である。

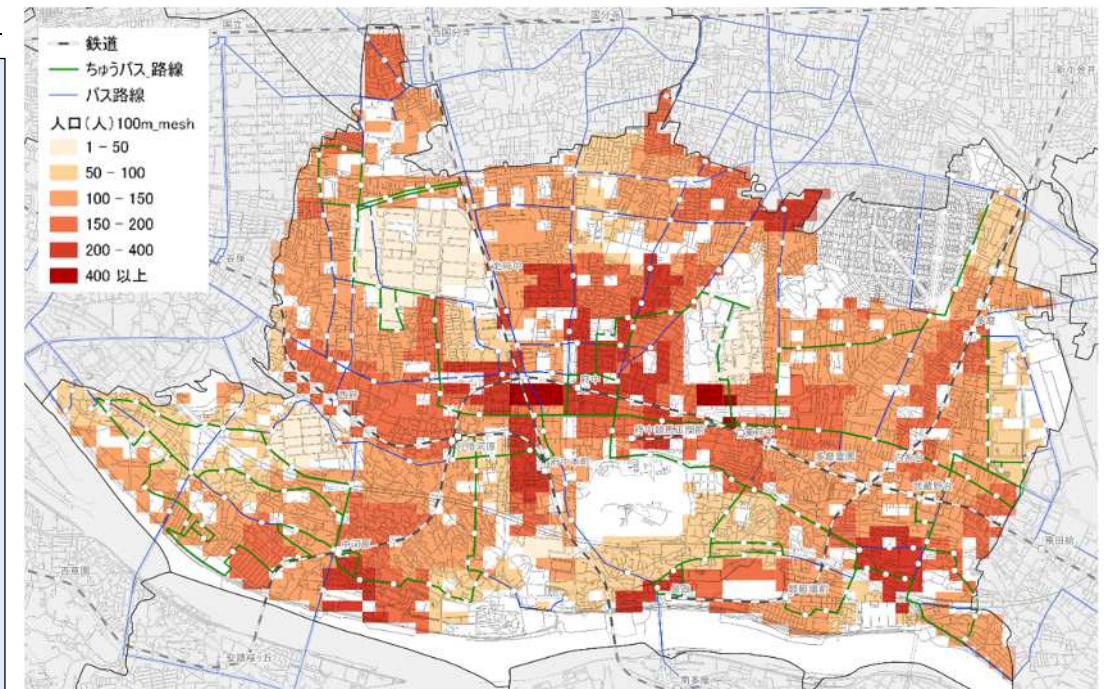


図 2-5 人口分布 平成27年（100Mメッシュ）資料：国勢調査

#### 3) 人口増減数（H22~H27）

平成22（2010）年から平成27（2015）年の人口増減数をみると、府中駅・府中本町駅周辺で増加がみられる。また、八幡町、天神町、本宿町、西府町、四谷、是政、緑町、若松町、白糸台、朝日町の一部でも増加がみられる。

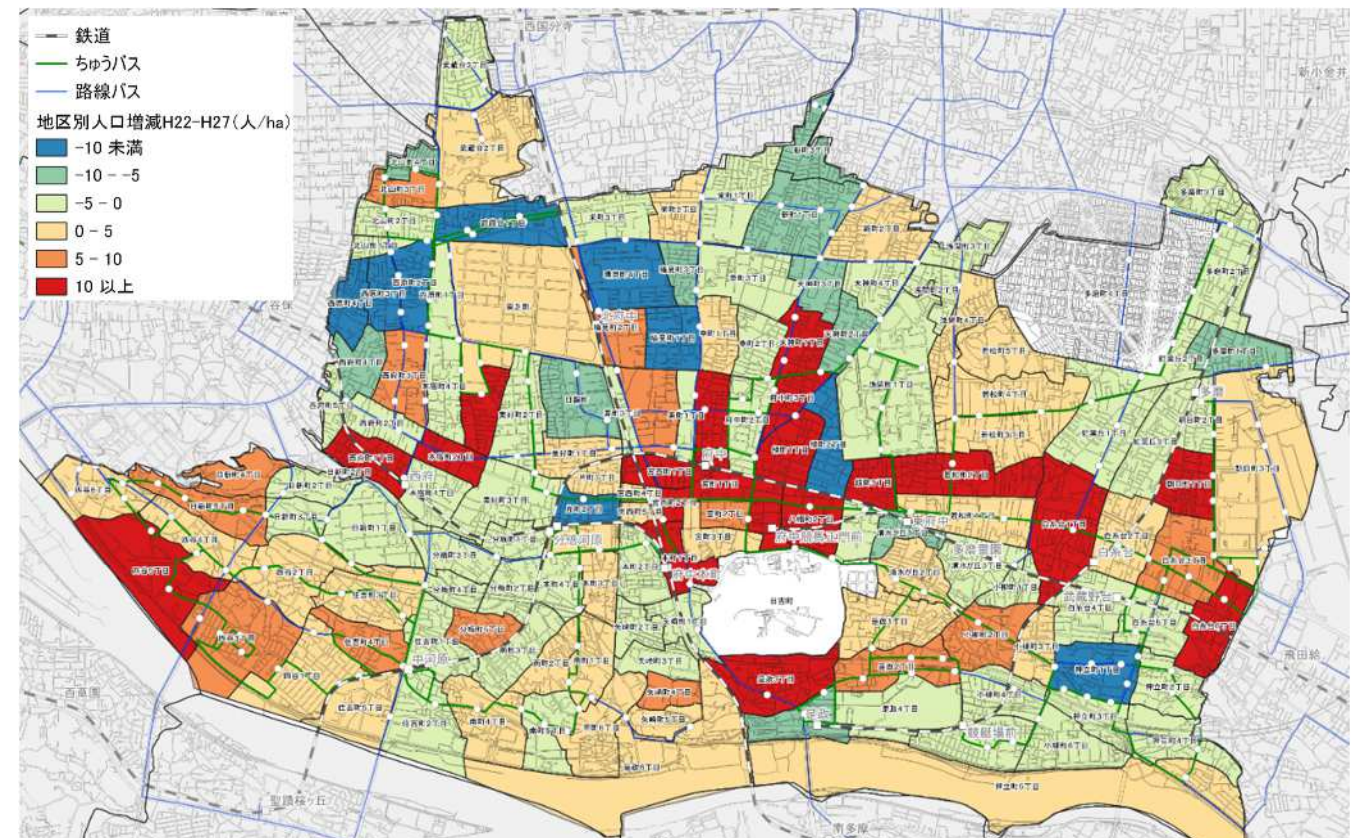


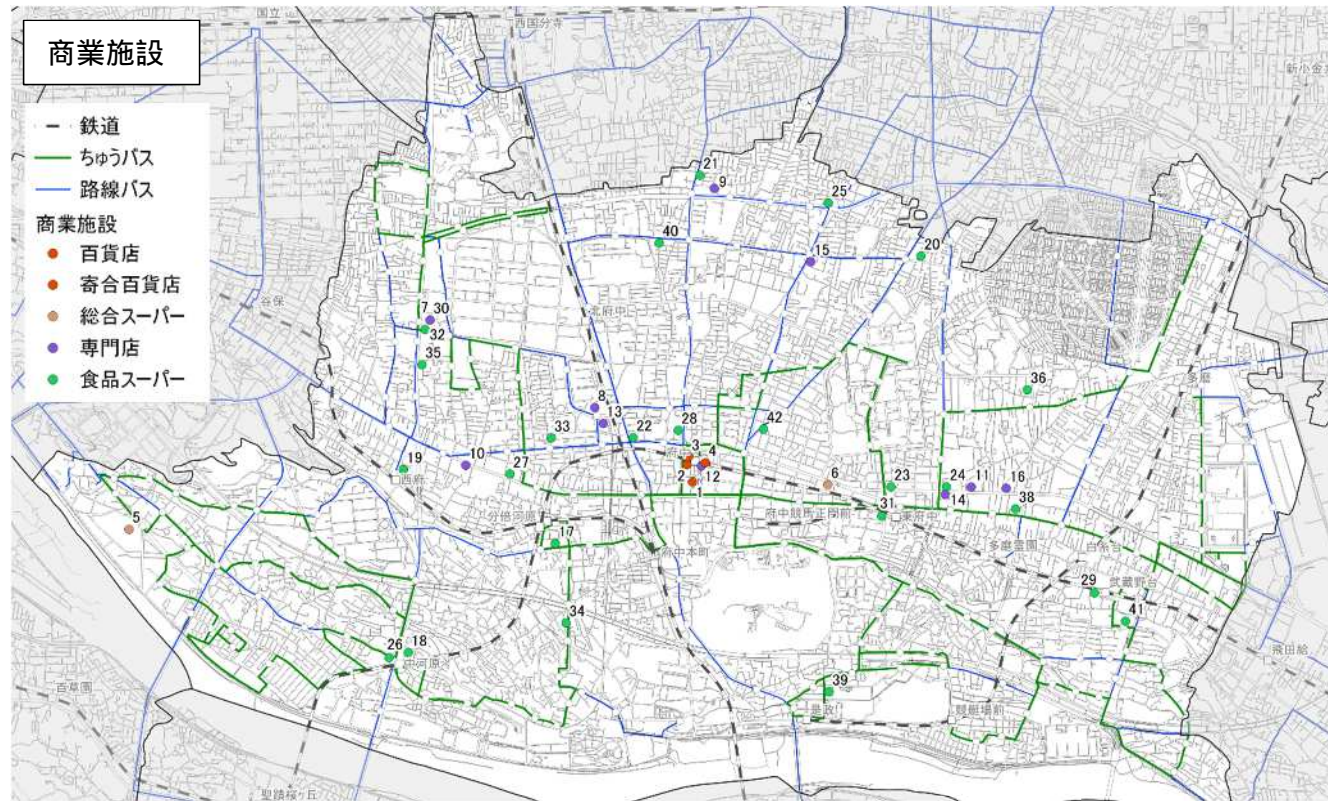
図 2-6 字別の人口増減数（2010~2015）

資料：国勢調査

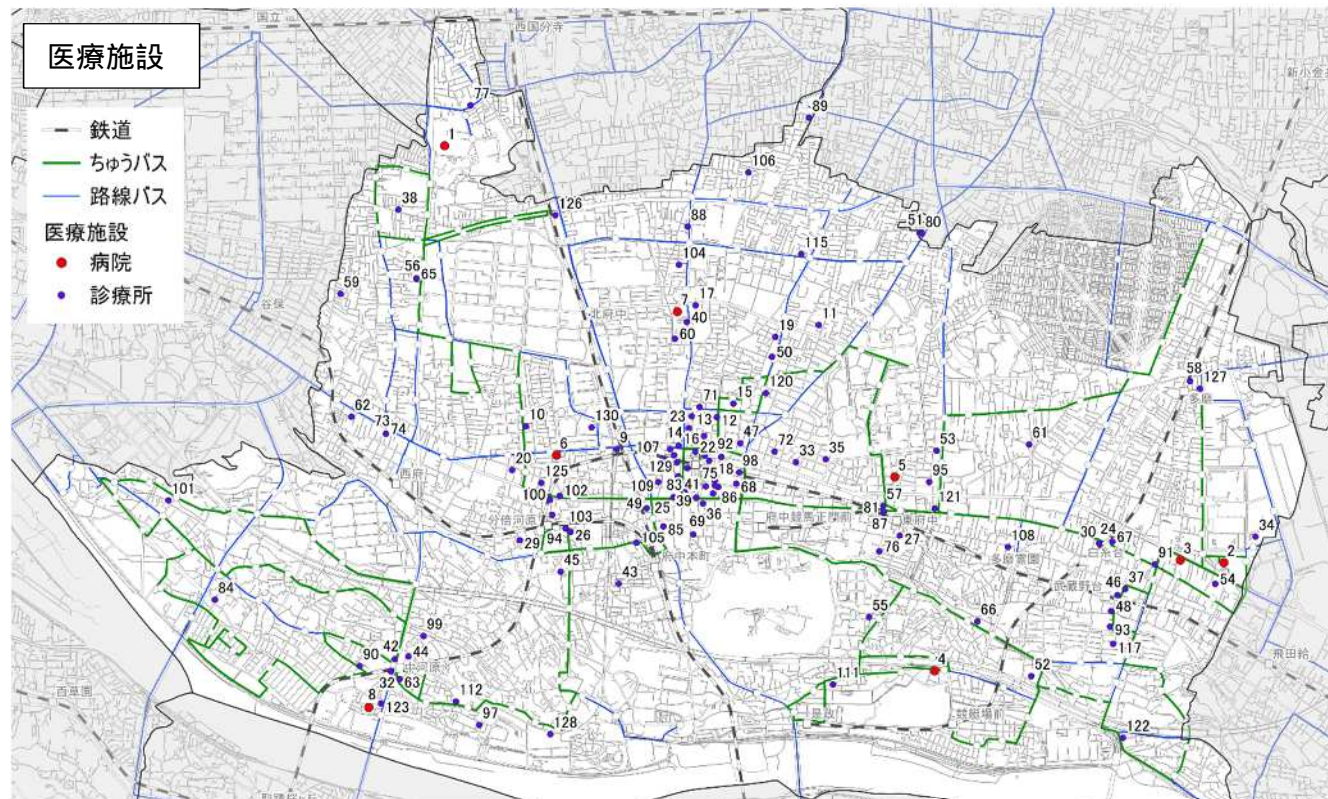


## 2-3 施設分布

市役所は府中駅と府中本町駅間の中心市街地に立地している。市内 11 箇所には文化センター（公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館などが併設された複合施設）が立地している。小学校 24 校、中学校 12 校、高等学校 6 校、大学 2 校、特別支援学校 2 校が立地している。府中駅周辺に百貨店等が集積し、食品スーパーは、市内各地域、特に鉄道駅周辺に多く立地している。病院が 8 施設、診療所 122 施設が立地している。



出典：全国大型小売店総覧 2020.i タウンページ



精神科・歯科を除く

出典：地域医療情報システム、国土数値情報

## 2-4 日常生活の移動特性

### 1) 通勤

通勤は、府中市内と府中市から 23 区への流動が多く、府中市から調布市・神奈川県への流動も多くみられる。また、23 区・八王子市から府中市への流動もみられる。

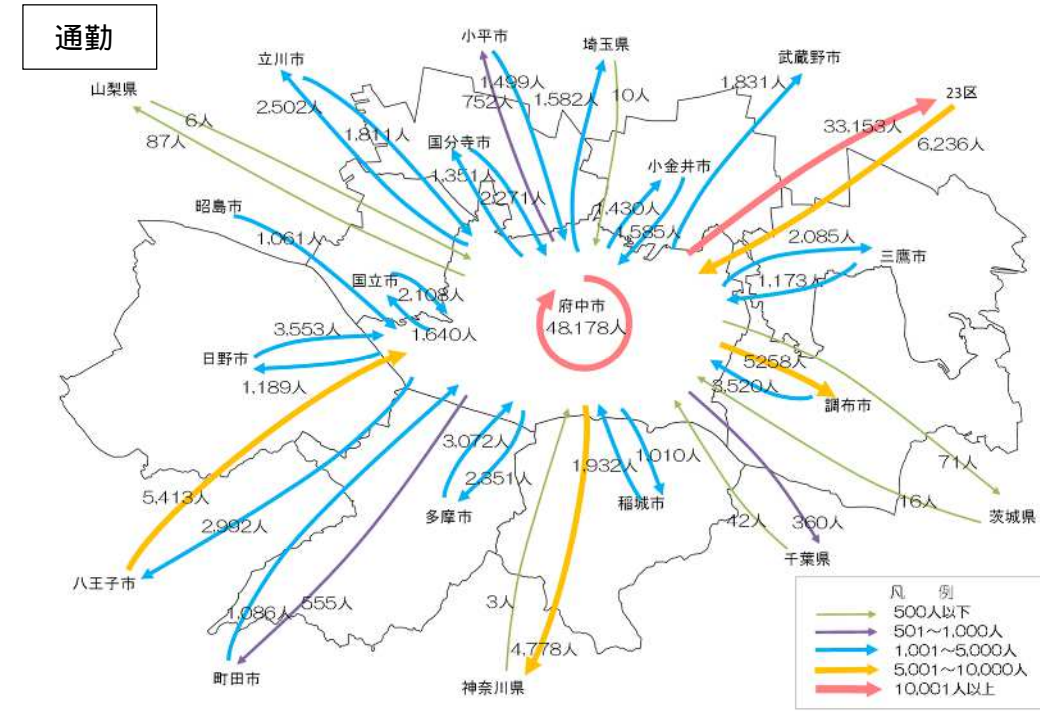


図 2-7 通勤流動

資料：国勢調査（平成 27 年）

### 2) 通学

通学は、府中市内と府中市から 23 区への流動が多く、八王子市への流動も多くみられる。また、23 区から府中市への流動もみられる。

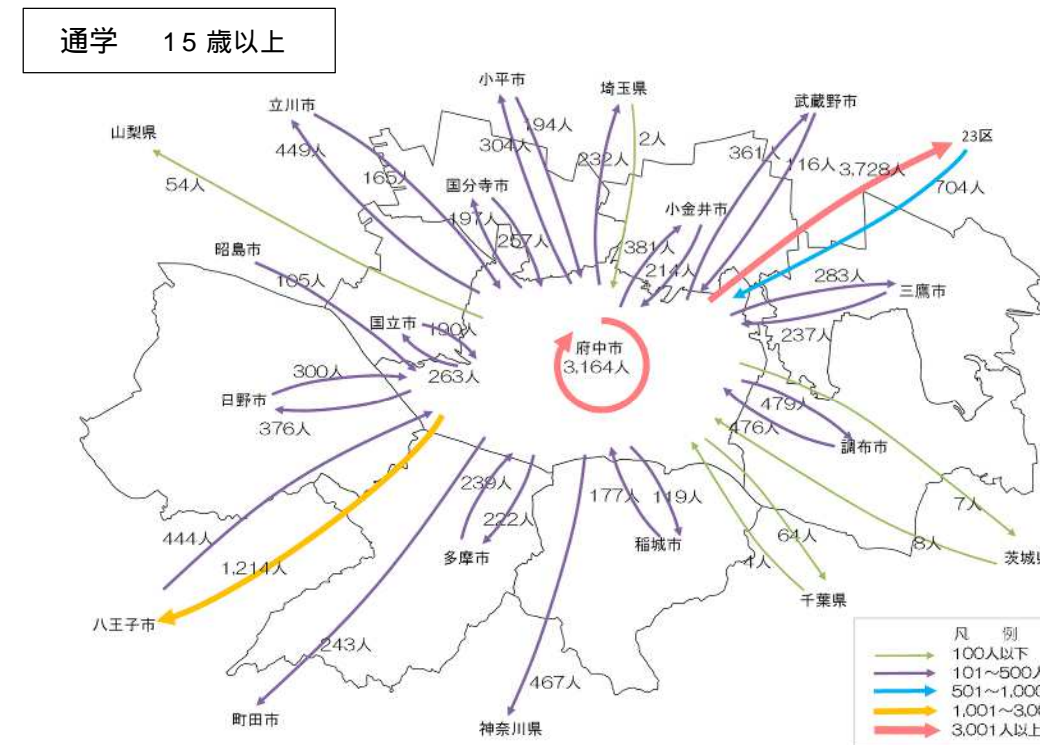


図 2-8 通学流動

資料：国勢調査（平成 27 年）



### 3. 府中市の地域公共交通ネットワークの現状

#### 3-1 府中市の地域公共交通ネットワークの現状

##### 3-1-1 鉄道

府中市内の鉄道は、鉄道6路線（JR武蔵野線、JR南武線、JR中央線、京王線、京王競馬場線、西武多摩川線）14駅ある。  
 市内各駅の乗車人員（平成30年度）は、分倍河原駅（京王）が47,695人と最も多く、次いで、府中駅が45,133人、分倍河原駅（JR）が41,285人である。

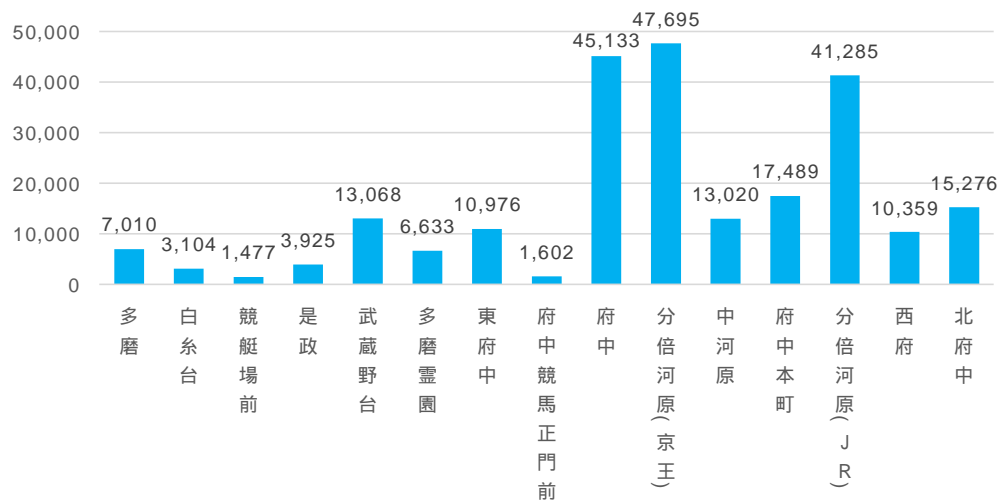


図3-1 市内各駅の1日平均乗車人員（平成30年度、単位：人）

資料：府中市統計書

##### 3-1-2 路線バス

令和3年1月時点、府中市内には、京王バス（42系統）小田急バス（2系統）の2事業者による路線バス44系統が運行している。  
 京王バスは、府中駅からJR中央本線（武蔵小金井駅・国分寺駅・西国分寺駅・国立駅）の間を高頻度で運行しており、路線バスによる南北の充実した基幹交通軸となっている。また、総合医療センターからは、府中駅・西国分寺駅・国立駅（国分寺駅・西府駅）など各方面への路線バスが運行している。  
 小田急バスは、市域東側の一部を三鷹駅～大沢（三鷹市）～武蔵小金井駅南口、三鷹駅～大沢（三鷹市）～多磨駅・車返団地等の路線バスを運行している。  
 路線バスによる市内のカバー状況をみると、是政・小柳町（鉄道駅800m圏内）や若松町（鉄道駅800m圏外）などには路線バスのバス停300m以上のエリアが存在している。南西のエリアは本数の少ない（片道30本未満）エリアが多く存在している。

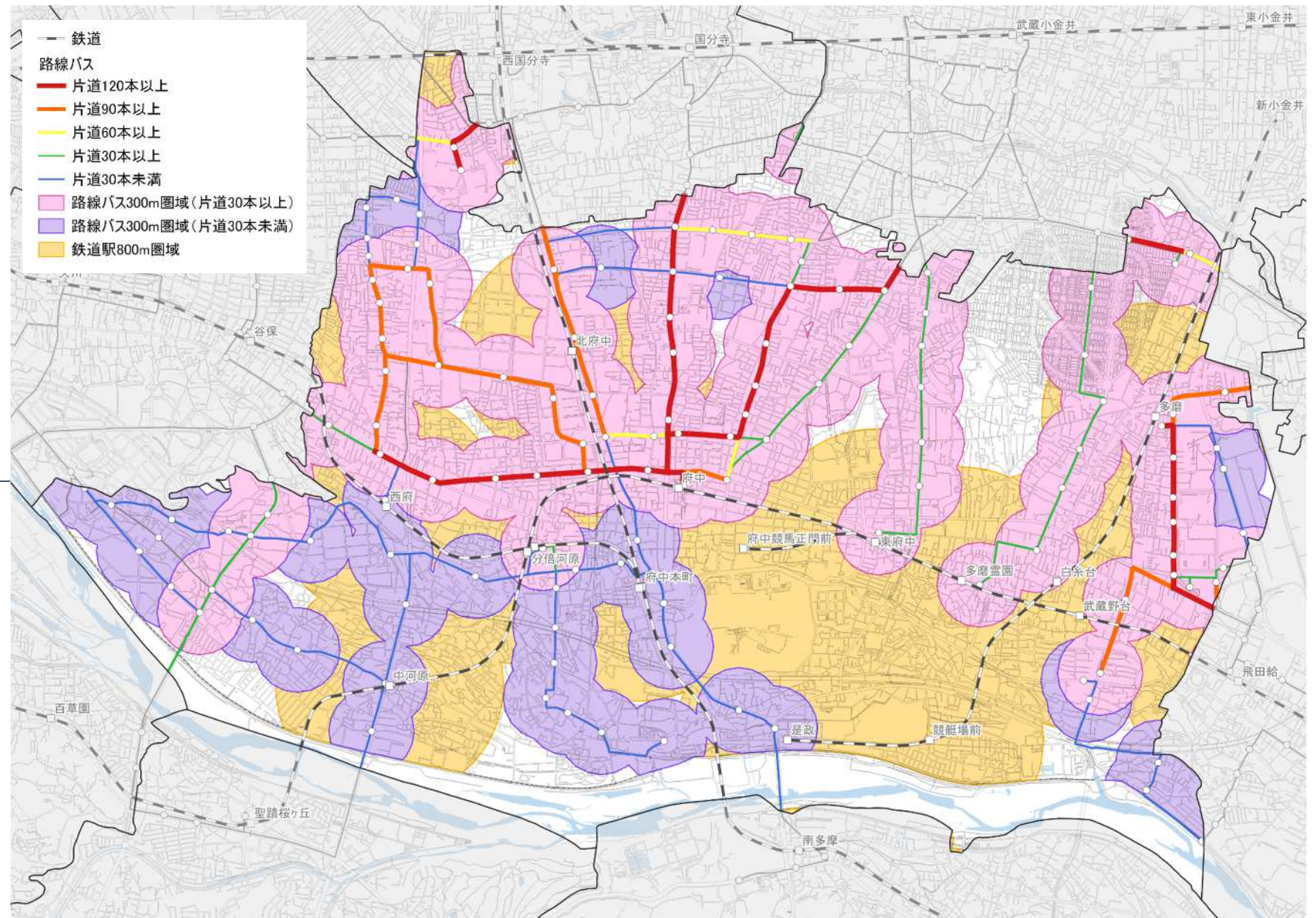


図3-2 路線バス運行状況



### 3-1-3 コミュニティバス「ちゅうバス」

「ちゅうバス」は、市内の交通不便地域の解消を行うとともに、公共施設への接続、高齢者や障害者の社会参加の促進等、市民生活の利便を図ることを目的に、平成15年12月に本格運行を開始し、現在市内を5路線7ルートで運行している。

府中駅を起点（「南町・四谷循環四谷六丁目ルート」を除く）に、路線バスのバス停300m以遠のエリアや、路線バスの運行本数が少ない（片道30本未満）エリアをカバーしている。

「南町・四谷循環四谷六丁目ルート」は、中河原駅を起点に四谷六丁目を運行し、中河原駅で「よつや苑西ルート」と乗継できる。「押立町・朝日町循環」の2ルートは、武蔵野台駅で乗継できる。

令和元年度の利用者数は2,105千人であり（多磨町ルート371千人、是政循環293千人、南町・四谷循環545千人、北山町循環222千人、押立町・朝日町循環675千人）収支率は約59%である。

表 ちゅうバス一覧

路線名	運行概要				
	起点	主な経由地	終点	運行事業者	
多磨町ルート	府中駅	生涯学習センター、東府中駅、多磨町	府中駅	京王バス	
押立町・朝日町循環	朝日町ルート	府中駅	武蔵野台駅南口、榑原記念病院、多磨町	府中駅	京王バス
	押立町ルート	府中駅	競艇場駅前南口、武蔵野台駅南口	府中駅	京王バス
是政循環	府中駅	第八小学校、是政文化センター、是政駅	府中駅	京王バス	
南町・四谷循環	よつや苑西ルート	府中駅	分倍河原駅、中河原駅、よつや苑西	府中駅	京王バス
	四谷六丁目ルート	中河原駅	四谷六丁目、三屋通り中	中河原駅	京王バス
北山町循環	府中駅	分倍河原駅北、横街道、武蔵台文化センター西	府中駅	京王バス	

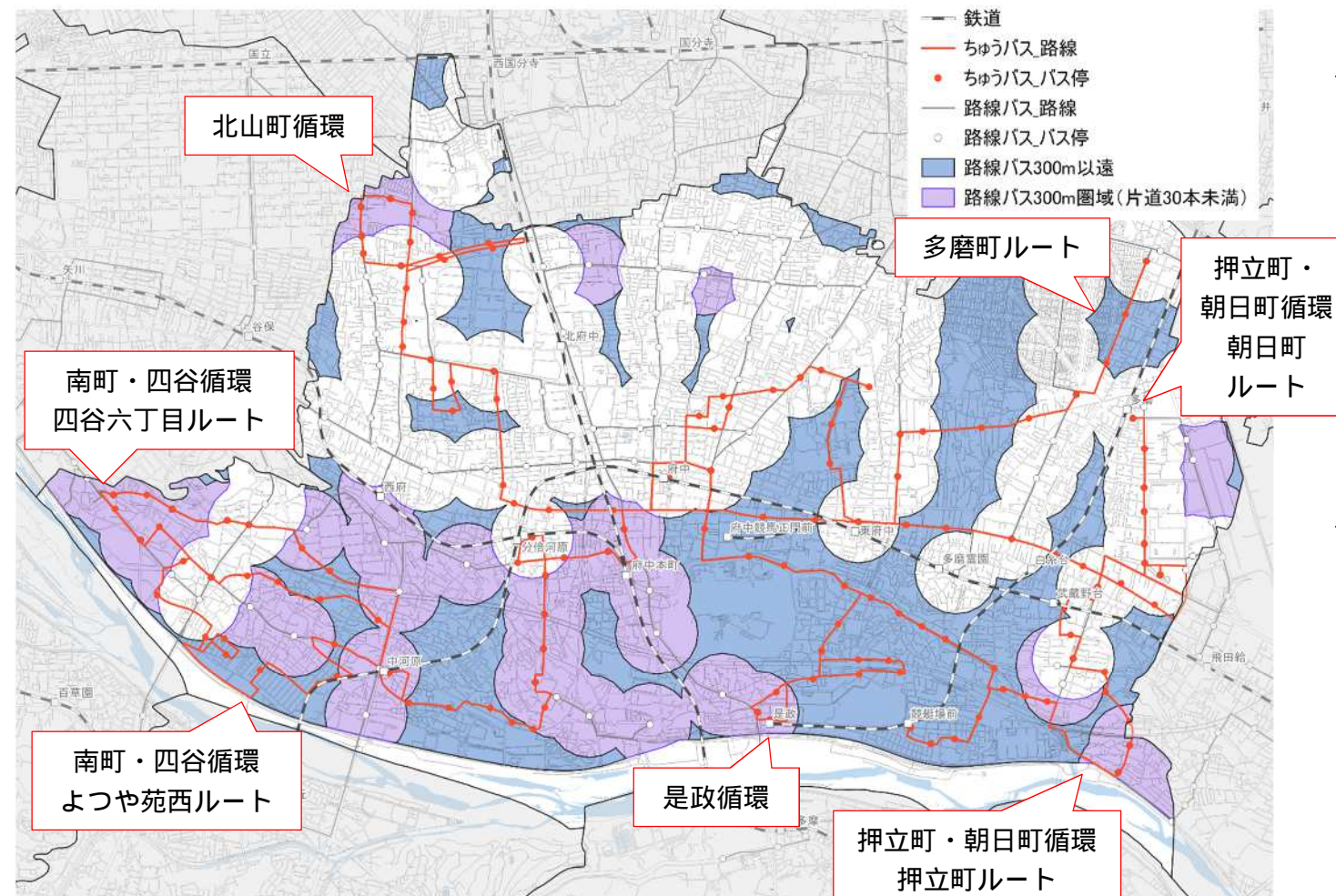


図 3-3 ちゅうバス運行状況

### 【ちゅうバスの導入当初の位置付けと導入目的】

#### 府中市におけるコミュニティバスの定義

・既存の路線バスサービスを補完し、市中心部に位置する公共施設や買物施設などへの交通の利便性を向上させるとともに、高齢者・障害者などのいわゆる交通弱者の社会活動への参加機会の拡大を目指した新しいバスシステム

#### ちゅうバスの導入目的

利用しなくなるバスを導入することにより公共交通機関の利便性を向上させる  
移動に制約を伴っている方々への社会活動機会の増大に寄与する  
市中心部の買物施設・公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与する

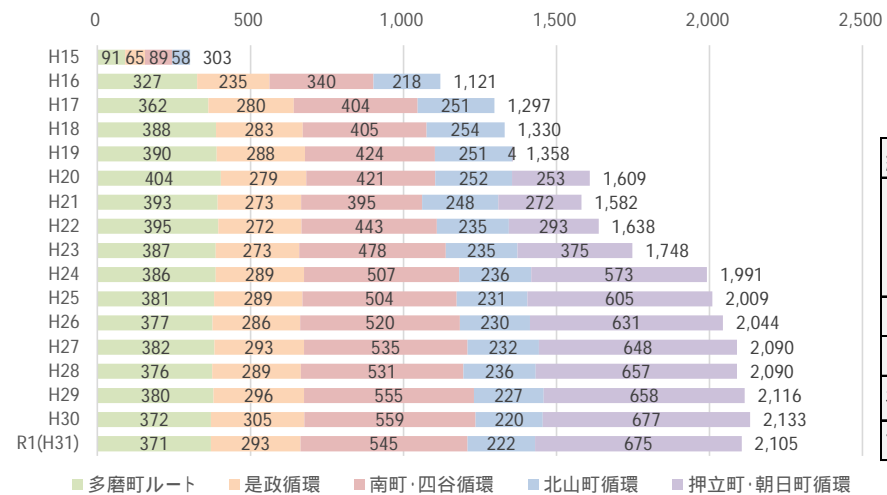


図 3-4 ちゅうバスの路線別利用者数（千人/年）

表 ちゅうバスの収支・補助金等  
（令和元年 / 平成31年度）

経費(円)	334,793,123
収入(円)	196,067,796
運送収入(円)	194,760,196
広告料収入(円)	1,307,600
収支(円)	-138,725,327
収支率	58.6%
補助金(円)	138,725,000
市民1人あたりの負担額(円)	533.6

### 3-1-4 タクシー

東京都北多摩地区の営業エリア、初乗り500円（～1.2km）、市内のタクシー事業者は6社である。

事業者名	住所	一般送迎以外のサービス
京王自動車(株)	府中市寿町	車いす対応車、空港定額運賃、陣痛・キッズタクシー
三和交通多摩(株)	府中市矢崎町	車いす対応車、空港定額運賃、陣痛・キッズタクシー、観光タクシー
十全交通(株)	府中市幸町	車いす対応車
つくば福祉輸送(株)	府中市南町	車いす対応車、空港定額運賃
府中観光交通(株)	府中市西府町	車いす対応車、空港定額運賃
(有)四谷交通	府中市住吉町	

出典：一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 HP

### 3-1-5 その他交通手段

#### 1) 福祉有償運送（府中市社会福祉協議会）

事業主体	利用時間	料金
府中市 社会福祉協議会	月曜日～土曜日 8時30分～17時	利用料：無料 燃料代・保険代：100円/km その他有料道路代や駐車料金等は利用者負担

#### 2) シェアサイクル（電動自転車の有料貸出サービス）

車種	料金	支払い	受付・登録
電動アシスト自転車	70円/15分 1,000円/12時間	クレジットカード、 キャリア決済 など	Web、アプリ



## 4. 市民アンケート調査の実施結果（概要）

### 4-1 調査の概要

市民の移動実態の把握、現行公共交通に対する市民の意向や見直しの検討などを把握するためアンケート調査を実施した。

項目	概要
調査対象	市内在住の16歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
調査時期	令和2年11月27日（金）～令和2年12月18日（金）
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者の属性</li> <li>日常生活での移動実態（食料品等の買い物、その他買い物、通院、通勤・通学等）</li> <li>公共交通の利用（鉄道・バスの利用状況、新型コロナの影響、利用しない理由等）</li> </ul>
配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布数：3,000枚</li> <li>有効回収数：1,532票（回収数1,533票、無効票1票）</li> <li>有効回収率：51.1%</li> </ul>

#### 4-1-1 調査結果の速報（概要）

##### 1) 回答者の属性について

「女性」が54.8%（840人）と多く、「男性」が44.3%（679人）である。「40代」が19.3%（296人）と最も高く、次いで「50代」が18.7%（287人）と続いている。70歳以上を合わせると21.2%（325人）を占めている。年齢70歳以上のうちシルバーパス所有状況は、約4割が「持っている」と回答している。

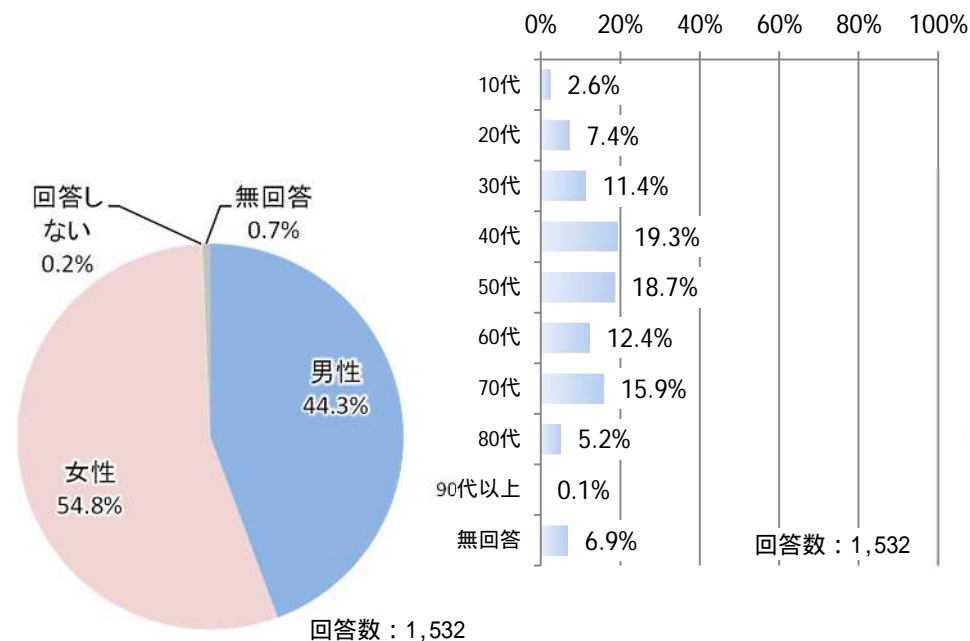


図 4-1 性別

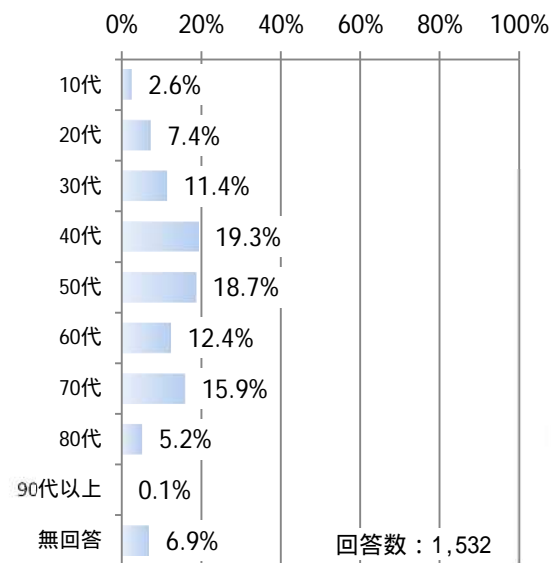


図 4-2 年齢

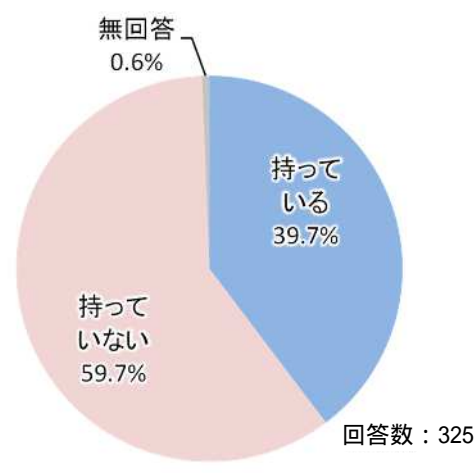


図 4-3 シルバーパス所有（70歳以上）

##### 2) 食料品や日用品の買い物について

日用品の買物をする場面では、「買い物を主な目的として外出する」が最も多く、次いで「通勤・通学の帰り道」、「宅配サービスやネット通販などを利用する」が続く。回数は、「週に1～2回」と「週に3～4回」を合わせると約7割を占める。交通手段は、「徒歩」と「自転車」が5割以上と多く、自家用車は約3割で、バス・鉄道・タクシーを合わせると約24%であった。買い物の場所は、「府中駅周辺」と「府中駅以外の市内の駅周辺」を合わせると5割以上を占める。府中駅以外の駅としては、中河原、東府中、分倍河原、西府、武蔵野台などが多い。コロナ禍での外出回数の変化は、「外出回数が減少した」が約3分の1である。

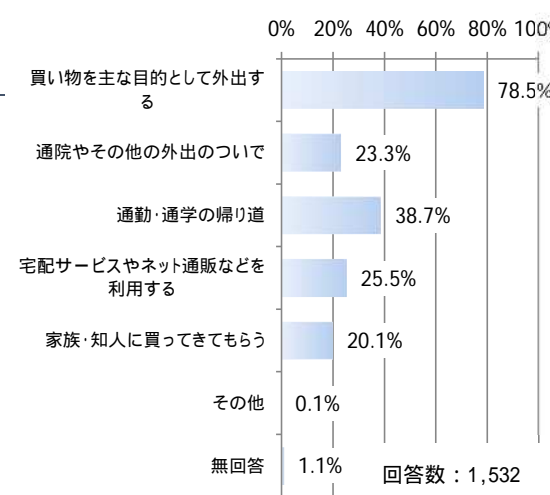


図 4-4 日用品の買物をする場面（複数回答）

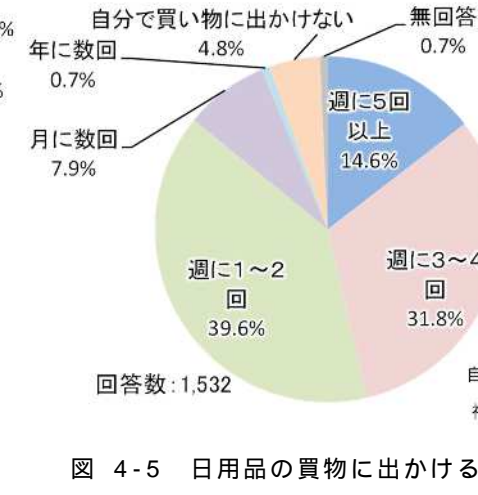


図 4-5 日用品の買物に出かける回数

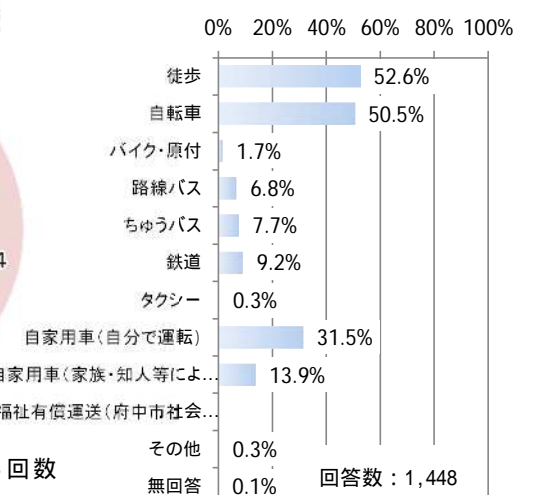


図 4-6 日用品の買物に出かけるときの交通手段（複数回答）

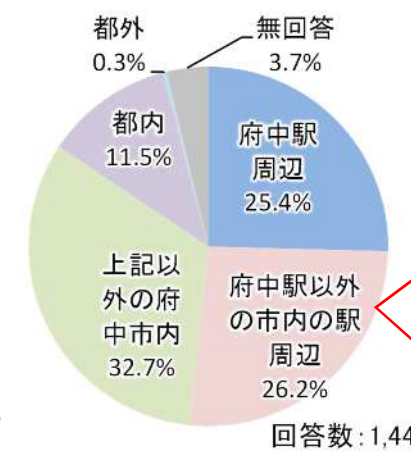


図 4-7 日用品の買物でよく利用する地域

駅名	件数	割合
中河原駅	95	25.1%
東府中駅	82	21.6%
分倍河原駅	67	17.7%
西府駅	59	15.6%
武蔵野台駅	40	10.6%
是政駅	13	3.4%
多磨霊園駅	4	1.1%
白糸台駅	1	0.3%
府中本町駅	1	0.3%
競艇場前駅	1	0.3%

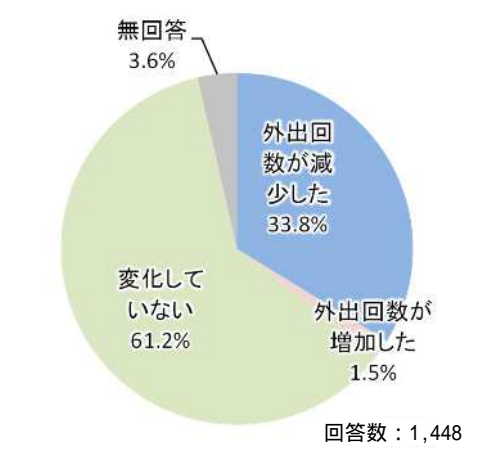
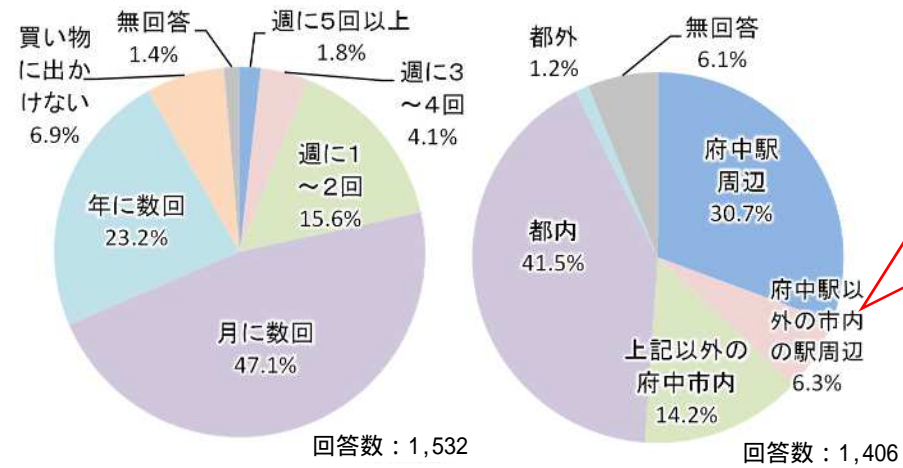


図 4-8 日用品のコロナ禍での外出回数の変化

### 3) 食料品・日用品以外の買い物について

日用品以外の買物の外出回数は、「月に数回」が5割近く、次いで「年に数回」が多い。  
 買い物の場所は、「都内」と「府中駅周辺」が多い。  
 交通手段は、「鉄道」が最も多く、次いで「自転車」が多い。



駅名	件数	割合
分倍河原駅	24	34.8%
中河原駅	22	31.9%
東府中駅	9	13.0%
西府中駅	4	5.8%
武蔵野台駅	4	5.8%

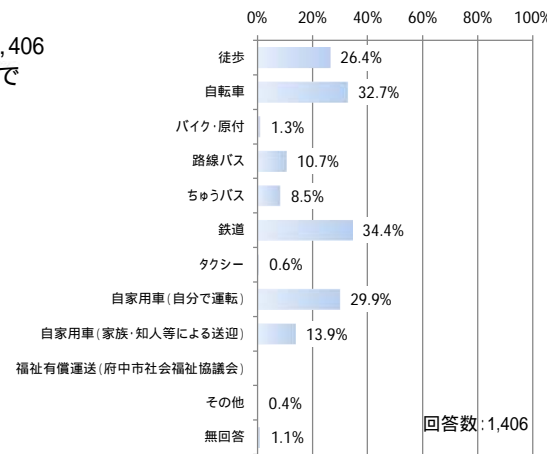


図 4-9 日用品以外の買物の外出回数 図 4-10 日用品以外の買物でよく利用する地域

### 4) 通院について

通院の回数は、「年に数回」と「月に数回」が約3割である。  
 通院先は、市内が7割以上を占め、「府中駅周辺」は約4分の1である。  
 交通手段は、「徒歩」と「自転車」が約4割、「鉄道」が約2割、「自家用車」が約16%、「路線バス」が約13%である。

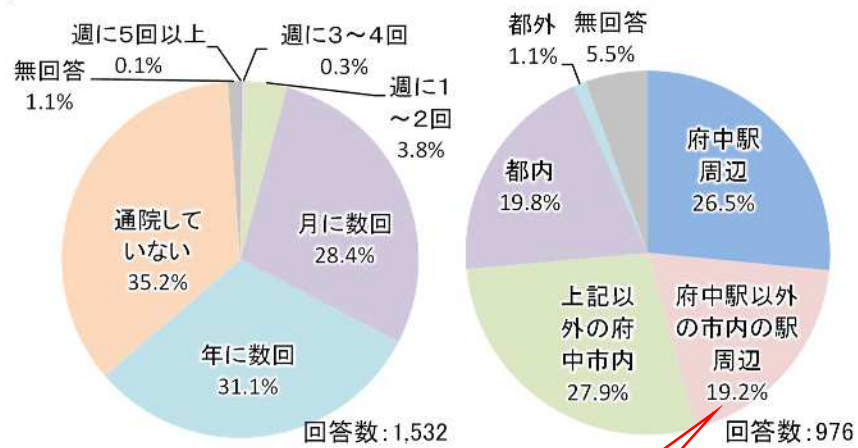


図 4-11 日用品以外の買物で利用する交通手段（複数回答）

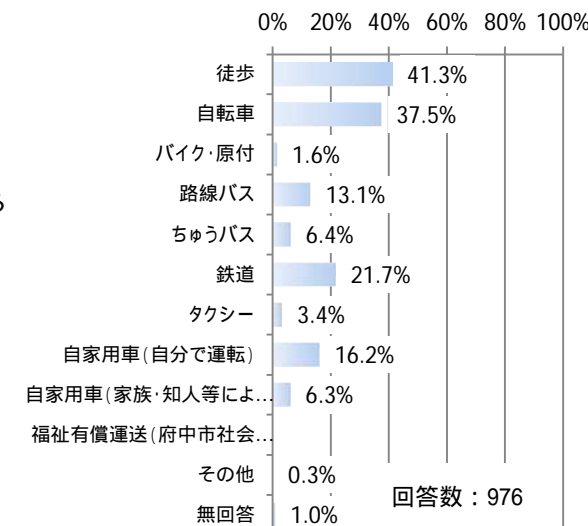


図 4-14 通院に出かけるときの交通手段（複数回答）

駅名	件数	割合
中河原駅	43	22.6%
東府中駅	36	18.9%
分倍河原駅	36	18.9%
武蔵野台駅	23	12.1%
西府中駅	17	8.9%
多磨霊園駅	9	4.7%
白糸台駅	5	2.6%
府中本町駅	4	2.1%
是政駅	3	1.6%
多磨駅	3	1.6%
競艇場前駅	1	0.5%

図 4-12 通院の回数 図 4-13 通院先で最も利用する地域

### 5) 公共交通の利用について

公共交通（バス）の利用の有無は、「ちゅうバス・路線バスともに利用していない」が約6割、ちゅうバス又は路線バスを利用した回答を合わせると約35%である。  
 利用者の自宅からバス停の距離は、300m以内を合わせると約5割（無回答除くと約7割）を占める。  
 鉄道の利用の有無は、約74%が「利用した」と回答している。  
 鉄道駅までの交通手段は、天気の良い日は「徒歩」が約6割、「自転車」が約2割と多く、天気の悪い日は「徒歩」の約68%に次いで「路線バス」が約12%である。

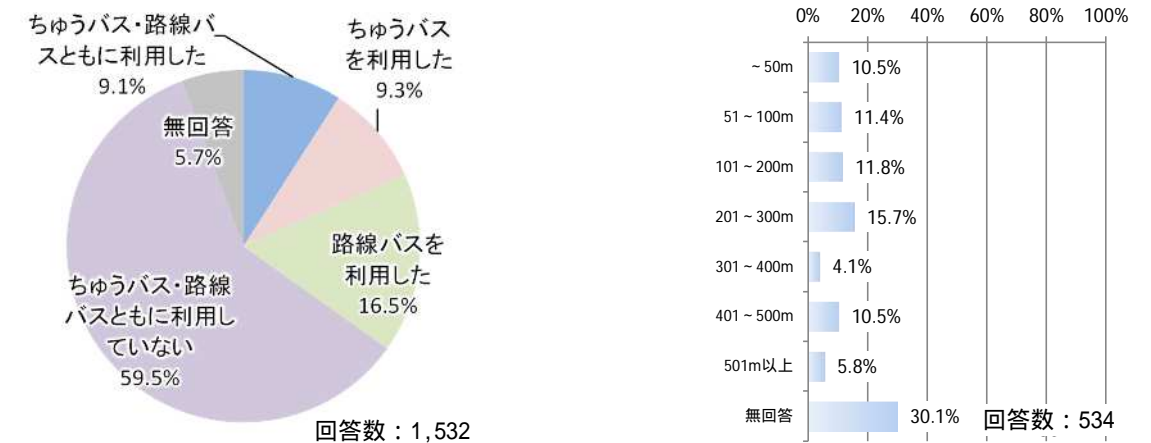


図 4-15 公共交通（バス）の利用

図 4-16 自宅最寄りバス停と自宅の距離

表 鉄道駅までの最も多い交通手段

天気の良い日			天気の悪い日		
交通手段	回答数	割合	交通手段	回答数	割合
徒歩	722	63.6%	徒歩	777	68.4%
自転車	264	23.2%	自転車	55	4.8%
バイク・原付	7	0.6%	バイク・原付	4	0.4%
路線バス	72	6.3%	路線バス	137	12.1%
ちゅうバス	20	1.8%	ちゅうバス	50	4.4%
鉄道	3	0.3%	鉄道	3	0.3%
タクシー	7	0.6%	タクシー	18	1.6%
自家用車(自分で運転)	8	0.7%	自家用車(自分で運転)	33	2.9%
自家用車(家族・知人等による送迎)	0	0.0%	自家用車(家族・知人等による送迎)	0	0.0%
福祉有償運送(府中市社会福祉協議会)	4	0.4%	福祉有償運送(府中市社会福祉協議会)	9	0.8%
その他	0	0.0%	その他	0	0.0%
無回答	29	2.6%	無回答	50	4.4%
合計	1136	100.0%	合計	1136	100.0%

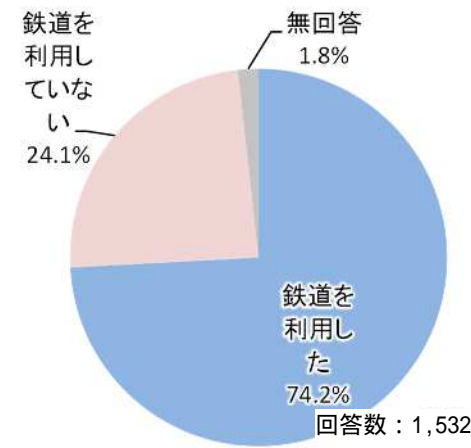


図 4-17 公共交通（鉄道）の利用

### 6) 公共交通に対する評価・意見

「満足」と「やや満足」を合わせると約54%、「不満」と「やや不満」を合わせると約17%。  
 不満点としては、「バスの本数が少ない」、「目的地までのバスがない」が多い。  
 また、「自転車駐車が足りない」、「自転車の走行環境が悪い」などの自転車に関する意見も2割程度ある。

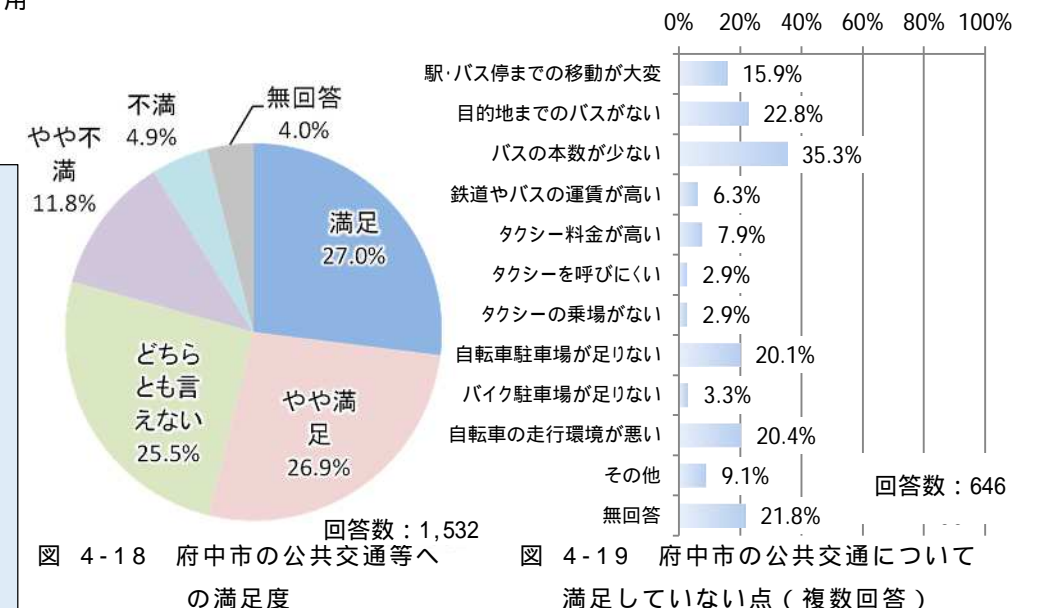


図 4-18 府中市の公共交通等への満足度

図 4-19 府中市の公共交通について満足していない点（複数回答）



### 5. 府中市地域公共交通計画の策定スケジュール

令和3年3月3日現在

	R2			R3												R4												R5				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
R2年度	(1)計画準備	■																														
	(2)公共交通に関する市民意向等の把握・整理																															
	上位・関連計画等におけるまちづくりの方向性		■																													
	地域公共交通の現況・将来展望の整理		■																													
	実態調査の実施(関係者ヒアリング)		■ 関係者ヒアリング																													
	実態調査の実施(市民アンケート)	■ 準備	■ 配布・回収	■ 入力・集計																												
(3)地域公共交通の課題の抽出			■																													
R3年度	(1)公共交通に関する市民意向等の把握・整理																															
	市民アンケートの詳細分析					↓	■ 詳細分析																									
	市民グループインタビュー									■ 準備	■ 実施	■ 分析																				
	民生委員アンケート						■ 準備	■ 実施	■ 集計・分析																							
	路線バス利用者アンケート						■ 準備	■ 配布・回収	■ 入力・集計																							
	ちゅうバス利用者アンケート						■ 準備	■ 配布・回収	■ 入力・集計																							
	タクシー利用者アンケート						■ 準備	■ 配布・回収	■ 入力・集計																							
	(2)庁内関係課等ヒアリング							■																								
(3)「ちゅうバス事業」の評価検証											■																					
(4)地域公共交通の課題の整理												■																				
(5)計画骨子案の作成(基本方針・計画目標・施策事業)																																
R4年度	(1)施策展開プログラム(アクションプラン)の検討																															
	(2)計画の達成状況の評価(評価方法・評価指標等)																															
	(3)計画素案・計画案の作成																															
共通	(1)地域公共交通協議会等			■ 現状報告 市民アンケート(概要)の報告			■ 課題方向性 市民アンケートの集計結果の報告			■ 各種調査結果の報告 ちゅうバス検証			■ 計画骨子案(現況・課題・基本方針・施策体系等)			■ 市民参加イベントの報告 意見反映方法			■ 施策展開プログラム 評価方法・指標			■ 施策展開プログラム(詳細) 計画素案			■ 市民参加イベントの報告・意見反映 計画案			■ バブコム結果・意見 反映 計画完成				
	(2)市民参加イベント																															